

MOB,products

大阪のものづくりが産み出したイモノ大集合。
奇抜なカタチやデザイン、機能美も豊かな製品を紹介。



大阪府内のものづくり中小企業の優れた技術・
創造力にあふれた製品(消費財)を、「大阪製」
としてブランド認証しています。

<http://www.osakasei.m-osaka.com/>



足の運動能力を最大限に 引き出す高付加価値ソックス。



靴下専門メーカーならではの高度な技術を生かし、
肉体との一体化を追求して開発された高機能ソックス。

A

「靴下は喫茶店のコーヒーより安価というイメージが定着してしまっている」と語るの代表取締役の吉村盛善氏。「靴はどんどん進化しているが、靴下は昔から変わらない。足に直接触れるウェアとして靴下を進化させよう」というポリシーで開発されたFOOT MAXは、新しい機能性と履き心地を提供する高付加価値ソックスだ。足の運動能力を極限まで高めることを目指し、紡績糸に伸縮性に優れたポリウレタン繊維を混織、足を包み込む箇所毎に編み方を変える高度な技術で独自の3次元立体構造を実現した。運動時の足の筋肉や骨の動きを配慮した編み方が施され、履いてみると袋状の部分にかかるとがすっぽりと収まり、土踏まず部分のアーチが安定、快適で動きやすいフィット感が楽しめる。ランニング、球技などアスリート対応から、ビジネスにも着用できるものまで9種類。5本指タイプは、爪先部分をナイロン糸で補強し耐久性を高めている。

コーマ株式会社

1922年の創業以来、靴下一筋に90年の同社は、染色からニット、プレス、包装まで自社で一貫生産。「靴下も進化すべき」という吉村盛善社長の理念のもと、国産の機能的ソックス分野でトップランナーとして邁進している。

<http://www.cooma.co.jp/>

●FOOT MAX (3DSOX)

B

これまでのネジにはなかった、カラフルで親しみやすい形状の斬新なデザインを取り入れることで「アート(装飾)ネジ」という新しい世界を切り拓いた「クレヨンくん」。代表の川端謙二氏は、「主力の精密機械用ネジは重要な部品ですが、“留める”という機能一辺倒の脇役。遊び心を取り入れて存在感のある主役級のネジを作りたい。若い頃はオシャレな服を探すなど、ファッションに興味がありました。デザインにこだわるモノづくりの原点はそこにあるのかもしれない」と語る。ネジやナットを手作りすることから始め、約100個の試作品を経ながら、とがり具合の調整などを重ねて商品化を実現した。その後、各種のデザイン賞を受賞するなど注目を浴び、フォトフレームや表札のツールとして使える用途の幅広さが広まると、舞い込む注文の数が増えた。同氏は「当初は夢だったニッチな市場でのビジネスが、全国規模なら充分可能だと今では確信しています」と意欲的だ。

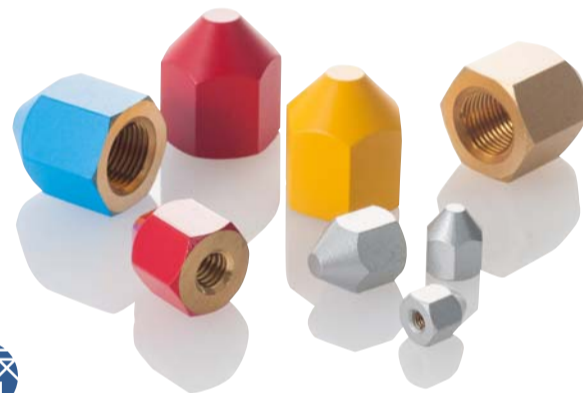
川端ネジ製作所

1953年の創業以来、工業用マシンなどの精密機械用ネジの受注生産を行い、多様なオーダーに応えることで信頼を勝ち得てきた。東大阪の企業と切磋琢磨しながら、海外生産では難しい微小なネジを高精度で製造する独自の戦略を貫く。

<http://www.art-neji.com/>

●クレヨンくん

脇役でも主役になれる！発想の転換から 生まれたアートネジで、大きな夢を描く。



軽妙なネーミングもあいまって人気沸騰中の
「クレヨンくん」。使い方に思いをめぐらせるのも楽しい。



エコで、ソフトで、染色の柄が美しい！ 自在に裁断できる、3m巻きのふきん。



自在にカットして使える3m巻き「さらしふきん」は、
高い吸湿性と速乾性に加えやさしい肌触りが自慢。

C

肌触りの良さ、美しいデザイン、長持ちする丈夫さ——。安価なイメージのある「ふきん」では両立しにくかったテーマを、染色職人の技とデザイナーのアイデアを融合しブランド価値を高めることでクリアした、3m巻きの「さらしふきん」。代表取締役社長の松尾治氏は、低価格競争と一線を画した「日本手ぬぐい」のブランド商品の製作に携わった経験から、「ふきん」の分野でも何かできないかと考え、東大阪で募集していたデザイン会社とものづくり企業で製品開発を行うプロジェクトへの参加を決めた。2012年、ものづくり企業4社とデザイン会社による東大阪生まれの新ブランド「シンプルプラススタイル」を立ち上げ、3m巻きの「さらしふきん」を商品化した。ナノ単位の細かい粒子で繊維の樹脂に固着しやすい顔料を使用し、従来の染めに必要だった熱量や水を大幅に減らすことで環境にやさしいうえ、酸化漂白剤での色落ちもしにくくなっている。

松尾捺染株式会社

この「さらしふきん」の捺染(なっせん)という染め方は、発色が良く、柄の表現が多彩で、シルクスクリーンとも呼ばれる。同社は創業87年。その技術が日本有数と評価されるハンカチーフなどの染色加工メーカー。

<http://www.simple-plus-style.jp/>

●さらしふきん

編集後記

今号で取材した市民工房ファブラボ(FABLAB)は、ものづくりの楽しさを生活者の手に取り戻そうとする世界規模のムーブメント。プロセスと情報を共有することで、私たちは欲しいモノを手に入れるだけでなく、モノの目利きになることができる。ライフスタイルの新しい風を久々に感じた取材でした。

(山蔭)

スタッフ

企画・編集
(株)ショーエイベストコーポレーション

編集長 山蔭ヒラク(ショーエイベスト) 写真 岩西信二(JPS) アートディレクター 高谷朋世(キューブデザイン)

ライター 工藤拓路(ショーエイベスト) 印刷 昭英印刷(株) 金井直子(ショーエイベスト)

MOB,press 07 Oct 2013

大阪のものづくり企業を知る。動く。繋がる。[ムーブプレス]

発行
MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)
大阪府商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課
〒577-0011 東大阪市荒本北1-4-17(クリエイション・コア東大阪内)
TEL.06-6748-1011 FAX.06-6745-2362
<http://www.m-osaka.com/>

2013年9月30日 発行